

永福の本欄

2017年

1月号

【今月の特集】

井伊直虎の生きた時代



特集コーナー

井伊直虎の生きた時代

『戦国武将の遺言状』

小澤富夫／著 文藝春秋
請求記号:A(文春新書787)
ISBN:978-4-16-660787-7



一国や一族を一身に背負い、常に死と隣り合わせだった戦国時代の武将たち。死を覚悟した時、自らの生涯を顧み、信念を伝え訴す一方で、幼い子供たちにひらがなまじりの手紙を遺すなど親としての優しい一面も見え、生き様の奥深さを感じ取ることができます。

『なぜ、地形と地理がわかると戦国時代がこんなに面白くなるのか』

全50項目に地図がついてよくわかる！
渡邊大門／編著 洋泉社
請求記号:214.7フ
ISBN:978-4-8003-0985-3



日本史の中でも戦国時代はとても人気のある時代です。本書は地理や地形をテーマの中心に据えて、なぜあの城はこんな山に築かれたのか？あるいはあの合戦はどうしてこの場所が舞台になったのか？などの戦国時代の謎を解き明かします。

城主として井伊家を再興し、大名まで押し上げた井伊直虎。今月は、井伊家に関連した本や、徳川四天王など直虎と同じ時代を生きた大名や、時代背景がわかる本を集めました。

『徳川家康』

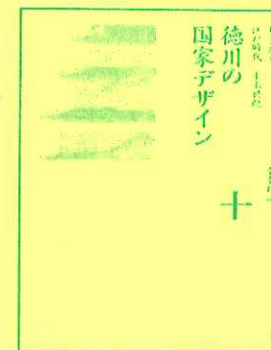
中村晃／著 ナツメ社
請求記号:281ト
ISBN:4-8163-3266-9



「鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス」でお馴染みの徳川家康。この本は、そんな家康について、彼の生きた時代背景から長期政権を築くまでを、絵や図を用いてわかりやすく解説しています。家康を好きな方はもちろん、よく知らないという方も、是非読んでみてください。

『日本の歴史10』

小学館
請求記号:211ニ
ISBN:978-4-09-622110-5



本書は、安土桃山から江戸前期までの国づくりに焦点をあてた歴史書です。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康は、新たな政策や仕組みから、どのような国を作ろうとしたのか。その歴史にせまります。

新着図書コーナー

『珍樹図鑑』

小山直彦／著 文藝春秋
請求記号:A(文春新書1103)
ISBN:978-4-16-661103-4

ふと目に留まったものが、何かの形に見えて愛着が湧くことはありませんか。この本では想像力(妄想力?)豊かな著者が動物や芸能人の様に見える選りすぐりの樹木の写真を紹介。樹木への愛ある解説も楽しめます。



『江戸を愛して愛されて』

杉浦日向子／著 河出書房新社
請求記号:914.7スキ
ISBN:978-4-309-27768-4

吉原や日本橋など、江戸の各地の正月の風景が、イラストと共に描かれています。江戸の人々が楽しんだ食べ物や風景が、雰囲気や匂いまるごと伝わってきます。単行本未収録の文章と「呑々まんが」を全話完全収録しています。



『グリズリー アラスカの王者』

星野道夫／著 平凡社
請求記号:489ホ
ISBN:978-4-582-76845-9

アラスカの自然と野生動物をテーマに、生涯にわたり撮影を続けた写真家の星野道夫。7年間、グリズリーの親子と旅をしながら撮影した迫力ある写真、一枚一枚に引き込まれます。



『世界の文豪の家』

阿部公彦/[ほか] 監修
エクスナレッジ
請求記号:902.5エ
ISBN:978-4-7678-2177-1

後世に読み継がれる名作を生み出した、世界の文豪たち。彼らは、どんな住まいに暮らし、作品を書いていたのでしょうか。この本では、彼らが過ごした家屋や内装を紹介しており、文豪たちの新たな一面を見ることができます。



『こどものみかた春夏秋冬』

柴田愛子／著 福音館書店
請求記号:376シ
ISBN:978-4-8340-8299-9

長年、子供の心に寄り添って保育をされてきた筆者による子供達の日々のエピソードが綴られています。子供達の様子に、ほろっとさせられたり、はっとさせられたり。子供達の純粋さ、面白さに感動します。



『死にいたる病』

セーレン・キルケゴール／著
榊田啓三郎／訳 筑摩書房
請求記号:BYキ
ISBN:4-480-08258-1

哲学者・思想家のキルケゴール晩年の思索を、デンマーク語原典から訳出した古典中の古典です。一冊の半分を占める訳注と解説には驚きですが、丁寧でわかりやすく、難解さを楽しみたくなくなります。時間をかけてじっくり挑みたい、読み応えのある本です。



えいふく

イベントレポート



「近代化と永福地域」の章では電車の歴史の話もありました。お話を聞いていると奥村土牛(日本画家)や、佐藤忠良(彫刻家)など文化人がとても多く住んでいた町だとわかりました。

郷土博物館学芸員をお迎えし、永福の地名の由来、永福の古代遺跡、文献史料からみる永福地域など、永福の歴史に焦点をあて、お話しいただきました。



郷土博物館協働企画

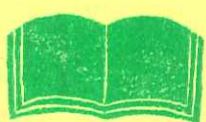
「杉並永福の歴史と文化」

12月3日(土) 午後2時~3時30分

そして、永福にはかつて朝顔園があったというエピソードも。50代から90代まで57名と大変多くの参加がありました。終了時間まで質問が続き、皆さんの永福地域への関心の高さがうかがえました。郷土博物館へもぜひ足をお運びください。



今月のスポット展示 1/6(金)~2/1(水)



「図書の分類~請求記号が2からはじまる本~」

図書館は本を分類するために、本の背に請求記号をつけています。杉並区の分類では、新書は請求記号のついていないものもあります。今月は本来であれば請求記号が「2」から始まる新書や文庫を集めました。日本と世界の歴史や地理、地図、伝記に関する分野の本です。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

1月の休館日

1月1日(日)～5日(木)、19日(木)

<永福図書館のリサイクル本について>

お問合せの増えているリサイクル本についてご案内します。

永福図書館では、図書館での役目を終え、再利用できる本や雑誌を皆さんに提供しています。図書館1階入り口横に「リサイクルコーナー」を設け、ブックトラックに対象の本を出してあります。是非ご活用下さい。尚、ご利用になる際は下記の注意事項をご一読ください。

(リサイクル本をお持ち帰りになる際は…)

※所定の用紙に必要な事項の記入をお願いします。

※お1人様10冊までお持ち帰りいただけます。

※持ち帰り用のバッグなどは各自でご用意ください。

※いつ何をリサイクルに出すかについては、手続きなどの都合上お答えできません。不定期となっておりますのでご了承ください。



「相続の心がまえ～法律の基本を学ぶ～」

【講師】 亀井時子氏 (弁護士、法テラス東京副所長)

【日時】 2月24日 (金) 14:00～16:00

【申込】 2月1日 (水) 午前9時より受付開始

お電話または、永福図書館1Fカウンターでお申込み下さい。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2017年1月号 (通巻235号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。